

令和3年度北海道教育大学札幌校教員養成課程 編入学試験問題

言語・社会教育専攻 国語教育分野

注意事項

- 1 試験開始の合図があるまでは、この問題紙を開かないこと。
- 2 この問題紙は表紙を含めて7枚あります。
- 3 問題は問題一から問題六まであります。すべての問題に解答すること。
- 4 解答は指定された解答欄に記入すること。
- 5 受験番号は指定された欄すべてに記入すること。
- 6 解答は縦書きとし、指定された字数にまとめること。句読点や括弧記号等も、一字分とします。
- 7 試験終了後、問題紙すべてを提出すること。
- 8 試験中に問題紙の印刷不鮮明、ページの落丁・乱丁及び汚れ等に気付いた場合は、手を挙げて監督者に知らせること。

得点 ( ) / 300 ( )

問題一

次の各問いに答えなさい。(合計70点)

問一

次の熟語の読み方をひらがなで書きなさい。(各2点×10問、合計20点)

- ① 喧伝
- ② 団扇
- ③ 塵埃
- ④ 礼賛
- ⑤ 案山子
- ⑥ 嚙矢
- ⑦ 逼迫
- ⑧ 出納
- ⑨ 反故
- ⑩ 薰陶

【解答欄】

- ① ②
- ③ ④
- ⑤ ⑥
- ⑦ ⑧
- ⑨ ⑩

問二 次の二重傍線部のカタカナを漢字に直して書きなさい。(各2点×10問、合計20点)

- ① 相手にセイメイを名乗る。
- ② シュウチ徹底させる。
- ③ 借金のテイトウにする。
- ④ 肝にメイずる。
- ⑤ 二人の出合いはグウゼンだった。
- ⑥ 害虫がハンシヨクする。
- ⑦ 代表者がイチドウに会する。
- ⑧ 国会で証人をカンモンする。
- ⑨ キンコウを保つ。
- ⑩ 要求をカンテツする。

【解答欄】

- ① ②
- ③ ④
- ⑤ ⑥
- ⑦ ⑧
- ⑨ ⑩

問三 次の慣用表現の誤りを直して、全体を書きなさい。ただし、誤りがない場合は○を書きなさい。また、それぞれの慣用表現の意味を書きなさい。(各3点×10問、合計30点)

- ① 歯に絹着せぬ
- ② 爪に火をともす
- ③ 厚顔無知
- ④ 一言半句
- ⑤ 固酔を呑む

【解答欄】

(正しく書き直す。誤りがない場合は○を書く。)

- ①
- ②
- ③
- ④
- ⑤

(意味を書く。)

- ①
- ②
- ③
- ④
- ⑤

問題二

次の二重傍線部について文法的に説明しなさい。品詞、活用の種類、活用形、意味用法などを、できるだけ詳しく書くこと。(各6点×5問、合計30点)

- ① これが答えた。
- ② この本がほしい。
- ③ 字が上手に書ける。
- ④ 子供が人形に服を着せる。
- ⑤ 父が息子に服を着させる。

【解答欄】

- ①
- ②
- ③
- ④
- ⑤

問題三 次の①～⑤に答えなさい。(各6点×5問、合計30点)

- ① 島木赤彦、斎藤茂吉らが属していた短歌のグループは何派と呼ばれていたか、その一般的な名称を書きなさい。
- ② 『生れ出づる悩み』『或る女』の作者の氏名を漢字で書きなさい。
- ③ 川端康成の作品(小説に限る)の名称を一つ書きなさい。
- ④ プロレタリア文学と言われる作品の名称を一つ書きなさい。
- ⑤ 日本の紙幣に肖像画が使用された明治以降の文学者の氏名を漢字で書きなさい。一人でよい。

【解答欄】

- ①
- ②
- ③
- ④
- ⑤

問題四 次の文章を、一四〇字以上一八〇字以内で要約して書きなさい。(70点)

村上隆氏らは高校中退に関連する意識調査を行い、中退率の高さと強い関係があったのは「社会化への不安の低さ、根拠のない楽天主義」と言われるものであったとしている。具体的には「目立ちたい」「今の社会は生活しやすいと思う」「何をしてでも生きていけるといいう自信はある」「自分には、他の人と違った才能があると思う」などであったという(「高校中退に関連する生徒の意識―尺度の構成と基礎的分析―」中等教育研究センター紀要、二二)。

これらは中退者の弁であるにもかかわらず、決して萎縮したものではない。むしろ自己を拡大解釈したもので、甘い自己認識・社会認識が含まれている。中退率が高い高校で、「自分には、他の人と違った才能があると思う」と言うのであるから、彼らの中には、いわゆる「オンリーワン」の夢を抱いている者が多いのかもしれない。おそらく、学校の成績という次元で考えれば、これまでの学習経験から、彼ら自身が特に才能に恵まれているとは考えがたいであろう。そこで彼らは「他の人と違った才能」というものを仮定するのである。「自分には他人にない何か優れたものがあるにちがいない」という思いを信念のようにして抱こうとするのである。

しかし、おそらく、それがどのような才能であるかと問われるならば、彼らは答に窮するであろう。能力の内容はよくわからないが、とにかく自分には何人にもない特殊な才能があるはずだ、という根拠のない自己肯定をしているのである。最近の社会では、「オンリーワン」という言葉が流行歌の歌詞にもなり、非常によいイメージが持たれているが、この考えには落とし穴もある。なぜなら、多様な比較の次元を持つことは人間にとって幸福なことではあるが、誰もが勝手に好ましい自己評価をし、自分にもすばらしいところがあるにちがいないという、楽天的な見方を構築しやすいからである。

(次に続く)

(問題四の文章の続き)

調査対象となつた中退者は、中退したことに對してほとんど、恥ずかしさ、悲しみや悔しさを感じておらず、むしろ平然と堂々としておられるところの特徴がある。何十年か前の高校生であれば、中退は恥ずべきものという意識が強く、ある教科に限って赤点を取ることに對してすら、かなり神経質であつたように思われる。であるのに、現在このような中退者が増加していることは、高校生全体としても、甘く自己愛的な自己認識をする若者が増加していることを推測させる。

中退率の高い高校の生徒は、「今の社会は生活しやすいと思う」というように現実の社会認識も甘いと言える。確かに歴史的に見れば、現在の社会は生活しやすいであろう。食いはぐれるようなことはないのかもしれない。しかし、長く続いた不況のあとで、高校卒の生徒への求人倍率が一を大きく割つておられるという現実もある。フリーターの道もあるが、一生フリーターというわけにもいかないだろう。彼らが社会を軽く見ておられる感はない。また、彼らが今の社会を生活しやすいと感じるのは、決して自分たちの力によるものでなく、親を含めた先代の人々の努力によつてもたらされたものであることを認識する必要もあろう。

(速水敏彦『他人を見下す若者たち』講談社現代新書、二〇〇六年。一部改変。)

**【解答欄】**


問題五 次の『大鏡』時平伝の一節を読んで、後の問いに答えなさい。（合計50点）

①このおとど、②子どもあまたおはせしに、女君達は婿とり、男君達は、皆ほどほどにつけて位どもおはせしを、それも皆方々に流されたまひてかなしきに、幼くおはしける男君・女君達慕ひ泣きておはしければ、「小さきはあへなむ」と、おほやけもゆるさせたまひしぞかし。帝の御おきて、きはめてあやにくにおはしませば、③この御子どもを、同じ方につかはさざりけり。かたがたにいとかなしく思し召して、④御前の梅の花を御覧じて、

⑤東風吹かばにはひおこせよ梅の花あるじなしとて春を忘るな

問一 傍線部①は誰のことを指しますか。氏名を漢字で書きなさい。（6点）

【解答欄】

問二 傍線部②の現代語訳を書きなさい。（7点）

【解答欄】

問三 傍線部③は誰のことを指しますか。最も適切な語を本文から抜き出して書きなさい。（6点）

【解答欄】

問四 傍線部④は誰の前を指しますか。本文から抜き出して書きなさい。（6点）

【解答欄】

問五 傍線部⑤の現代語訳を、動詞の活用形に注意しながら書きなさい。特に「東風」は、別の言葉に置き換えて、意味を明示すること。（10点）

【解答欄】

問六 なぜ「梅の花」について詠んだのか、考えられる理由を、二つ書きなさい。

【解答欄】

（各5点×2問、合計10点）

（一つ目）

（二つ目）

問七 『大鏡』と同じジャンル（種類）の古典文学作品の名称を、一つ書きなさい。（5点）

【解答欄】

問題六 次の杜甫の詩「春望」を読んで、後の問いに答えなさい。(合計50点)

国 破 山 河 在  
城 春 草 木 深  
感 時 花 濺<sup>そそぎ</sup> 涙  
恨 別 鳥 驚 心  
烽<sup>ほう</sup> 火 連 三 月  
家 書 抵<sup>あた</sup> 万 金  
白 頭 搔<sup>かげ</sup> 更 短  
渾<sup>すべ</sup> 欲 不 勝<sup>たへ</sup> 簪<sup>しん</sup>

※渾…全く。 簪…かんざし。

問一 この詩の形式を何と言いますか。漢字で書きなさい。(5点)

【解答欄】

問二 押韻している字をすべて書き出しなさい。(5点)

【解答欄】

問三 第三句は、「時に感じて花も涙を濺ぎ」と訓読する説があります。その場合の、第四句の訓読、及び現代語訳を書きなさい。(各6点×2問、合計12点)

【解答欄】(訓読文)

(現代語訳)

問四 第六句の現代語訳を書きなさい。(6点)

【解答欄】

問五 尾聯の訓読を書きなさい。また、現代語訳を書きなさい。(各8点×2問、合計16点)

【解答欄】(訓読文)

(現代語訳)

問六 杜甫が活躍したのは唐のうち特に何と呼ばれている時代か、漢字二字で書きなさい。また、その時代に活躍した杜甫以外の詩人の氏名を漢字で書きなさい。一人でよい。

(3点×2問、計6点)

【解答欄】(時代)

(詩人)